

第6回 まちづくりと野川に関する懇談会 参加票

日時：令和3年3月27日（土）午前9時から正午

●あなたの情報

氏名	参加 12名
住所	

※連絡先については必ず記入する必要はありません。ご質問については問合せ先までお知らせください。なお、この個人情報については他の目的では使用しません。

●記入欄（後日、下記の送付いただいて構いません。）

① 国分寺市内の未改修部分と鞍尾根橋の改修部分を視察しての御意見と御感想

- ・東京都の「野川流域河川整備計画」での、“野川国分寺市域”の基本理念・施行場所・整備実施に関する事項など、すべての面で賛成です。
- ・国分寺市域に於ける野川は、市の“まちづくり”の中核をなす重要な河川です。早急な整備が必要と考えます。
- ・川のほとりに遊歩道が有るのはいいのですが、昔のままの流の方が私は好き。
- ・小金井市側の川辺が風光明媚で自然が残っていて、四季をたのしめます。国分寺側は改修しすぎて、楽しみが少ないです。
- ・そばの公園（市営住宅の前）をせばめて野川を広くするとうわさを聞きましたが…
- ・整備の必要性、早期事業化の必要性を改めて認識しました。市民としてもできることは少しでも取り組みたいと感じました。
- ・川底のゴミを除去できない国分寺市側は住みづらい印象を与える。
- ・近未来、大雨洪水は人ごとではありません。想定内のこととして、行政・市民で、強く、改修等を要求していく必要があると思います。
- ・野川の源流が国分寺市の中の緑豊かな日立製作所中央研究所の中にありながら、その敷地内を出ると同時に、コンクリートの管や三面張りのコンクリートに覆われ、耐震性の面からも危険な状態にあることはとても残念です。
- ・小金井市内に川が入ったとたん、桜並木に覆われた緑豊かな河川に変わり、素晴らしいなと感じると同時に、なぜ国分寺市内は改修がすすまないんだろうと気になります。

② 野川整備は東京都の事業になりますが、要望事項等がありますか。

- ・東京都整備局として、この整備計画について、市民がよりよく理解できる様、国分寺市民への説明が必要ですので、御説明いただける機会を作っていただきたい。
- ・国分寺市より数次にわたる要望が出されており、その対応として、治水優先の為、整備計画の実施は、都河川治水事業完了後にならざるを得ない、との認識であると伺っていますが、一級河川野川源流域の整備は、単に国分寺市からの要求ではなく、都民として「親しめる河川の復活」でありますので、早急な整備事業実施をお願いします。

- ・「野川流域河川整備計画」の一日も早い事業化をのぞみます。
 - ・治水の観点以外にも、防災の観点（現状大変危険な状態です）生物多様性保全の観点からも大変意義ある事業です。
 - ・東京都が遅らせるのであれば国分寺市独自でやることについて協議してほしい。
 - ・現在、計画に重なっている住宅について、また建築業者に対して、何か、情報がありますか。
 - ・野川流域河川整備計画（平成 29 年 7 月）に則り、国分寺市内の野川整備を早急に始めてほしい。
- ③ 国分寺市は今後も東京都へ早期改修整備の要望を続けてまいります、市に対する要望事項等がありますか。
- ・すでに、市より数次にわたり、市民の声がとどけられている事は承知しています。東京都として、こうした要求を吸い上げ、自然河川という観点から、国分寺市のまちづくり計画として、東京都の整備計画を取り入れた“まちづくり計画”を立案し、市民の了承を求める活動が必要ではないか、と考えます。
 - ・野川の両側の家が建つ時、なぜ後退して建ててもらわないのでしょうか。
 - ・自然を残すようお願いいたします。
 - ・河川整備の早期実現に向けて気運の醸成をはかるべく、積極的な取組をのぞみます。現状は全く不十分です。
 - ・河川整備に連動した河川のまちづくり計画の策定を早急にすすめる必要があります。河川整備は都の事業ですが、都まかせでは事は進みません。
 - ・都に任せず、独自でクラウドファンディングなどで資金調達をしてほしい。
 - ・調布など下流方面は、まだ河幅が広いのでその中を改修するだけで済むのですが、国分寺市の場合は、100 件近い土地の買収計画から始めなくてはならないのですよね。そんなに簡単に事が進むとは考えられません。上記の河川整備計画は向こう 30 年間の計画とありますから、国分寺は 30 年後になるかもしれません。
 - ・考えてみれば、小金井市を流れる野川の周囲には野川公園、小金井公園という都立公園があり、その散策路としての上流部、下流部の整備は都としても必要性があったのではないのでしょうか？ だからその部分は早く着手したと。都の自然再生事業の場にもなっています。座長には農工大の 4 小倉名誉教授をはじめ、野川を愛する地域のご意見番や活動団体があつまり、協議会を作っています。こうした、土台のしっかりした公と民が集う組織があり、地域の素地というか文化がまちづくりを後押ししてきたのではないのでしょうか？
調布市では、都議会議員を動かして繰り返し河川管理局に要望してきたようです。政治家の力も大きいのでしょうか。
 - ・こういう、自然や河川環境に普段興味のない人達にとって「変わっても変わらなく
-

でも自分が特に困らないこと」を成功させるためには、地域からの熱い思いがどれだけあるかがカギになると思います。

- ・国分寺市が、単独で要望しても、正直、優先順位が上がることはあまり期待できないのではないのでしょうか。まずは、今回のような地域住民への情報発信、普及啓発運動を時間をかけて行い、国分寺市民の中に「小金井市のような川になってほしい！」と要望する人が増えることが大切だと思います。

今、いきなり署名運動を行っても、興味ないことに協力してくれる人はいないと思います。

- ・（普及啓発活動の案）

- 子どもを動かし、大人を動かす：市内の小学校、中学校の児童、生徒に対して、総合の時間に市役所職員が出前授業をすとか、スタンプラリーのように親子で現地を見比べて意見を述べたり、アイデアを発表するイベントを仕掛ける。

- 本日のような、観察会懇談会を開催する。

- 先進地小金井市との連携協力の推進：小金井市の本案件の当時の担当者や外部の立役者（絶対誰かいるはず）と話し合い、事業推進のコツを把握する。

- ・本日の懇談会では、昔の国分寺市の様子を知る方に書いていただいた昔の地図が、とても印象的でした。あの地図や絵は昔の姿を紐解くとても貴重な文献です。小学校の国分寺を知る授業で活用すればいいのではないのでしょうか？
- ・まずは、市民にこういう問題があることを知ってもらい、知っている人を増やしていくことが重要だと思います。

④ その他、御自由に記述ください。

- ・桜咲く野川流域は都民のやすらぎの場です。65mm 対応の早期着手とともに、放水路的現状を、早急に解消し「親しめる川の復活」を期待します。
- ・又、構想図は鞍尾根橋から不動橋となっていますが、同様の発想での中央線下流までの景観が生まれることを強く希望します。
- ・「野川マップ」「野川」は、とても参考になります。
- ・一にも二にも市をあげて野川、および野川の整備の重要性を市民に知らせる必要があります。
- ・良い時期に良い天気で嬉しかったです。
- ・野川同志会の方々の意見をもう少し詳しく聞きたかったです。
- ・昨年の今頃、ちょうど緊急事態宣言が発出されて、自宅近くの散歩くらいしかできなかったころ、休校になり家にいる息子たちを含め家族で国分寺市内を散策しました。

殿ヶ谷戸公園が開いていて、散策したときに、本日いただいた小金井市発行の野川マップの英語版をいただき、それをきっかけに今日歩いたコースを家族で歩きました。

た。

- ・国分寺市には移住して17年くらいたちますが、その時、衝撃をうけました。野川の源流は国分寺市内にあるのに、なんでいまもコンクリート三面張りで、小金井市に入ると急に近自然型工法になるんだろう？ これは、国分寺市が住宅整備を推進したからではないか？ 桜が咲く季節には特に今日のような違いがあからさまで、なんだか住民としても切なくなります。以前狛江市に住んでいましたが、狛江市～世田谷区の野川も近自然型工法で仕上げられ、自然とのふれあいの場になっていました。
- ・逆に言うとそれ以外の行政区間では、当面の間野川はコンクリート張りのままということになるのでしょうか。
- ・国分寺市の新市庁舎が西国分寺に建設されます。そこは、現在は真姿の池の主要な水源となる緑被地です。新市庁舎の建設にあたって雨水浸透柵は当然として、汚水の処理をしてトイレ等の二次利用も当然考えているとは思いますが。その余水を二次処理・三次処理等をして雨水浸透柵に注入出来ませんか。
また、駐車場、道路等の排水の行方はどこでしょうか。これも処理して雨水浸透柵に注入出来ませんか。
- ・緑と公園課は野川整備だけではなくて、ハケの湧水対策も重点にすべきかと思えます。真姿の池は瀕死の状況です。

問合せ・お届け先：国分寺市建設環境部緑と建築課公園緑地係

電話 042-325-0111 内線 353, FAX 042-324-0160, E-mail: midorikenchiku@city.kokubunji.tokyo.jp